

《令和5年度 総務部 組織目標》

様式2

◆目標管理者

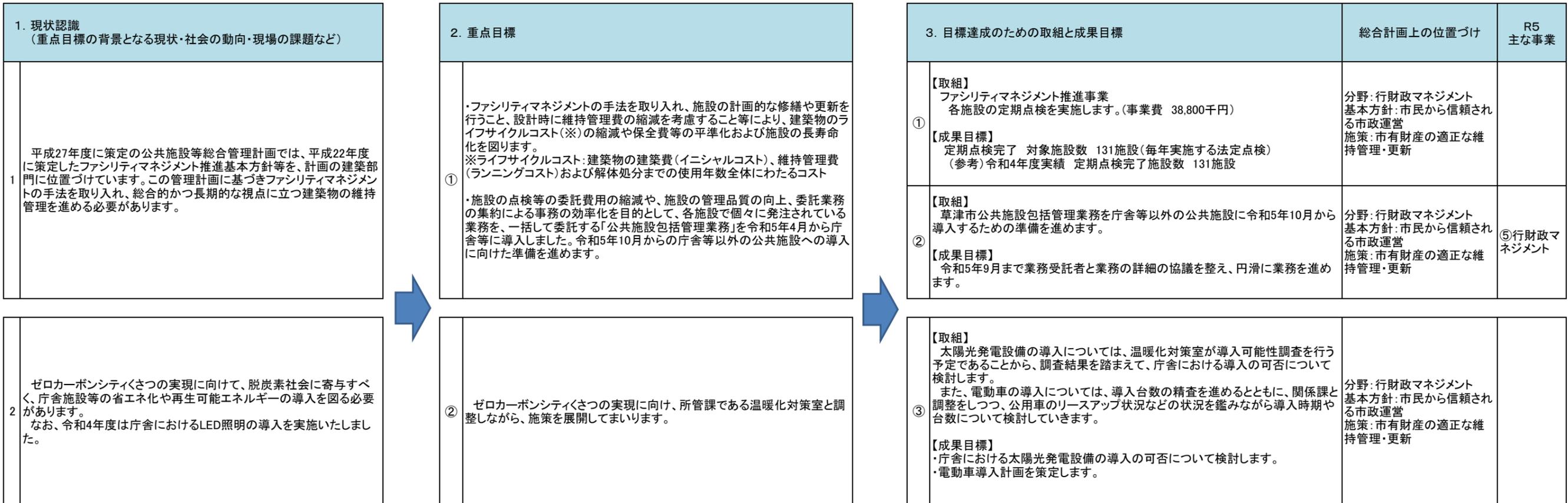
部長	南川 等
専門理事	野村 昌良

◆部局の役割・目標像

市民から信頼される市政運営
◆健全な財政運営の維持 ・「草津市健全で持続可能な財政運営および財政規律に関する条例」および「草津市財政規律ガイドライン」に基づき、規律ある財政マネジメントの下、効率的・効果的な予算編成を実施し、適正な執行管理を行うことで、健全な財政運営を維持します。 ・市税および国民健康保険税の適正な賦課に努めます。 ・税の公平性の確保のため、滞納整理の強化に取り組み、収納率の維持・向上を図ります。
◆市有財産の適正な維持管理・更新 ・経営的視点に立ったファシリティマネジメント手法による公共施設管理を進めます。 ・本庁舎においてゼロカーボンシティブックの実現に向けた施設管理を行います。
◆情報提供・情報公開の推進 ・公共工事や物品等の適正な入札および契約を行い、公正で透明性の高い行政運営を進めます。
◆職員の資質向上 ・職員の公正、公平な職務執行のためにコンプライアンス(法令遵守)意識の徹底を図ります。 ・草津市政の透明化の推進および公正な職務執行の確保に関する条例の適正な運用を図ります。

◆職員数および当初予算規模

所属	職員数(人)				当初予算規模(千円)		
	正規	再任用	会計年度	合計	歳出 (職員費を除く)	特定財源	一般財源
経営層(部長、副部長)	5	0	0	5	-	-	-
総務課	15	2	7	24	674,955	96,921	578,034
財政課	9	0	0	9	5,341,517	660,078	4,681,439
契約検査課	4	0	1	5	7,350	0	7,350
税務課	23	1	15	39	174,683	63,178	111,505
納税課	9	0	6	15	187,808	40,731	147,077
合計	65	3	29	97	6,386,313	860,908	5,525,405



1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	総合計画上の位置づけ	R5 主な事業
<p>3 公平、公正に業務を行うため、草津市政の透明化の推進および公正な職務執行の確保に関する条例等に基づき、職員のコンプライアンス意識のさらなる向上を目指す必要があります。</p>	<p>③ 職員のコンプライアンス意識の徹底を図ることにより、職員の資質向上に努めます。</p>	<p>④ 【取組】 引き続き職員を対象とした研修を行います。研修不参加の職員に対しては、研修受講者が所属内周知を行うとともに、グループウェアに研修内容を公開し、全職員が研修内容を把握できるようにします。</p> <p>【成果目標】 研修受講率 100%(研修後の所属内周知および自己学習を含みます。) (参考)令和4年度実績 100% (研修後の所属内周知および自己学習を含みます。)</p> <p>⑤ 【取組】 不当要求撲滅だよりの発行を行い、コンプライアンス意識の高揚を図ります。</p> <p>【成果目標】 12回発行(毎月) (参考)令和4年度実績 12回</p>	<p>分野:行財政マネジメント 基本方針:職員力の向上 施策:職員の資質向上</p> <p>分野:行財政マネジメント 基本方針:職員力の向上 施策:職員の資質向上</p>	
<p>4 社会保障関係経費や大規模事業等の実施による公債費等の義務的経費の増加に加え、施設の老朽化に伴う維持管理経費等の増加により、財政の硬直化が進んでいます。また、本市においても、近い将来、人口減少と少子高齢化により、歳入の減少が懸念される等、厳しい財政状況が見込まれることから、戦略的な財源配分や実効性のある公共施設マネジメントの実施など、健全で持続可能な財政運営の維持に向けた取組を進める必要があります。</p>	<p>④ ・効率的・効果的な予算編成を実現するため、引き続き分権型予算編成を推進し、各部局の自主性や主体性を尊重した予算編成を行うとともに、事業の選別を厳しく行うことで財源不足の解消を図ります。</p> <p>・「草津市財政規律ガイドライン」に定める各種財政指標の目標遵守を目指すとともに、その達成に向けた取組を推進し、健全な財政運営を維持します。</p>	<p>⑥ 【取組】 財政運営計画や当初予算の審査において、事業の「選択と集中」により、戦略的な財源配分を行うことで、収支不足を解消し、財政規律の確保を図るとともに、市債の発行を極力交付税措置のあるものに限定することなどにより、実質的な長期債務残高の増加を抑制し、「実質公債費比率」および「将来負担比率」について、下記の水準を維持します。</p> <p>【成果目標】 草津市財政規律ガイドラインの目標値 ≪令和4年度決算(第1期草津市財政規律ガイドライン)≫ 実質公債費比率 7.1%以内 将来負担比率 33.8%以内 ≪令和6年度当初予算(第2期草津市財政規律ガイドライン)≫ 実質公債費比率 7.1%以内 将来負担比率 - (算出されず)</p> <p>(参考)令和3年度決算 実質公債費比率 6.4% 将来負担比率 - (算出されず)</p>	<p>分野:行財政マネジメント 基本方針:市民から信頼される市政運営 施策:健全な財政運営の維持</p>	
<p>5 入札手続きについては、公平公正で適正な執行が求められており、本市においては、「透明性の確保」、「公正な競争の促進」、「信頼確保」、「品質確保」の4点を基本的な柱として、市民に信頼される発注方法や市民が最も期待する優良な成果物が得られることを意識して、発注を行っております。</p>	<p>⑤ 請負額によっては適正な施工が見込まれない、いわゆるダンピング受注を防ぐために、工事においては最低制限価格を設けており、令和5年度より業務においても最低制限価格を設けております。それに伴い事務量の増大や確認事項が煩雑になることから、入札事故につながらないよう適正に執行してまいります。</p>	<p>⑦ 【取組】 重大な入札事故につながらないよう最低制限価格導入にかかる事務を確立した上で、公平公正で適正な入札執行に取り組めます。</p> <p>【成果目標】 入札事故を0件にします。</p>	<p>分野:行財政マネジメント 基本方針:市民から信頼される市政運営 施策:情報提供・情報公開の推進</p>	
<p>6 ・毎年の税制改正に伴い複雑化する市税および国民健康保険税の制度の改正状況を的確に把握し、市民への周知を図るとともに、適正な事務処理を行う必要があります。</p> <p>・景気は回復傾向にあるものの、物価高騰等の影響により地域経済の状況は引き続き厳しい状況にあることから、納税者の状況に応じた丁寧な対応が必要となります。</p>	<p>⑥ ・市税および国民健康保険税の適正な課税を行います。</p> <p>・納税者の利便性を向上するため、口座振替、クレジットカード、モバイル決済サービスなどの納付方法を含め、キャッシュレス納付を推進し、今後も納付しやすい環境整備を行うとともに、広く周知に努めます。</p> <p>・滞納額の縮減を図るため、納税者の状況を丁寧に聞き取り把握したうえで、滞納処分が早期に行えるよう適切に取り組めます。</p>	<p>⑧ 【取組】 ・確実な事務処理と日程管理を徹底し、適正な課税事務を行います。併せて、税の制度や課税内容について、わかりやすい丁寧な説明に努めるとともに、納税通知書に同封するチラシ等について、わかりやすくするための工夫を行います。</p> <p>・収納率の向上を図るため、各種の納付方法の周知・啓発や納期限を過ぎた未納者に対する徴収に向けた対応と、滞納処分の強化に努めます。</p> <p>【成果目標】 ・現年収納率目標 市税:99.2%以上(財政規律ガイドライン) 国保税:90.0%以上</p> <p>(参考)令和4年度実績数値(3月末現在) 市税:97.2% 国保税:87.1% (参考)令和3年度決算 市税:99.3% 国保税:94.4%</p>	<p>分野:行財政マネジメント 基本方針:市民から信頼される市政運営 施策:健全な財政運営の維持</p>	